



2026年度 学生募集要項

編入学試験

<第3年次編入学 募集対象学部>

- ◆ 商 経 学 部
商学科 / 経済学科 / 経営学科
- ◆ 政 策 情 報 学 部

<第2年次編入学 募集対象学部>

- ◆ 商 経 学 部
商学科 / 経営学科
- ◆ 総 合 政 策 学 部
経済学科 / 政策情報学科
- ◆ サービス創造学部
- ◆ 人 間 社 会 学 部

目 次

<第3年次編入学>

1. アドミッション・ポリシー	2
2. 募集人員	8
3. 出願資格	8
4. 出願手続き	8
5. 選考方法	10
6. 面接試験会場	10
7. 小論文課題	11

<第2年次編入学>

1. アドミッション・ポリシー	14
2. 募集人員	23
3. 出願資格	23
4. 出願手続き	23
5. 選考方法	25
6. 面接試験会場	25
7. 小論文課題	26

< 共 通 >

8. 出願上の注意	30
9. インターネット出願	31
10. オンライン受験票	38
11. 検定資格・クラブ活動等の活動実績証明資料について.....	39
12. 受験上の注意	41
13. 合格発表	42
14. 編入学手続きおよび学費等	43
15. 単位認定の取り扱いについて	44
16. その他	44
17. 試験会場案内	45

個人情報の取り扱いについて

志願者の個人情報(氏名、住所、出身校名、その他当該志願者と特定できる情報)は、本学の個人情報保護方針に基づき、適正に管理します。

なお、入学者選抜や合格通知発送、入学等に関すること、ならびに個人を特定できない統計資料作成以外の目的に使用することはありません。

第3年次編入学

※ 2026 年度に第3年次へ編入学した場合、
2024 年度入学者用カリキュラムを履修
することになります。

1. アドミッション・ポリシー

千葉商科大学のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

「アドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)」とは、千葉商科大学が入学を希望する方に求める能力や資質に関する考え方のことです。

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とし、ディプロマ・ポリシー※およびカリキュラム・ポリシー※の達成のため、以下の学びに積極的に取り組む学生を歓迎する。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

<本学の求める学生像>

- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための専門教育と幅広い教養教育で知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより主体性・協働性・公平性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ これらの学びを通して思考力・判断力・表現力・倫理観を修得する意欲を持つ学生

<入学受入れの基本方針>

- ◆ 本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、読解力、語学力、数理能力、社会的な基礎知識)を持っているかを選抜の要件とする。レベルとしては高校の授業に準拠した内容を問うものとする。幅広い範囲からの出題とし、高校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。
- ◆ 本学の求める学生像を体現する可能性を主に面接を通じて測り選抜の要件とする。内容としては、複数の面接者による個別面接で本学での学び方に適した能力や適性を確認する。
- ◆ 高校までの学習状況や特別活動の記録などを調査書等で確認し合否の判断材料の一つとする。全体の学習成績の状況等は出願要件に含まれることもある。

※本学および各学部・学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、本学 Web サイト(<https://www.cuc.ac.jp/>→「学部・大学院」→「2024 年度以前入学者」→「各学部ページ」→「3つのポリシー」)を参照してください。

※ 2026 年度に第3年次へ編入学した場合、**2024 年度入学者用カリキュラム**を履修することになります。

商経学部のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

商経学部では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの達成のため、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能を持ち、三言語(自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計)および商学・経済学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生を受け入れる。

<求める学生像>

- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と、幅広い教養教育で知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・協働性・公平性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 商学・経済学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ さまざまな資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲がある学生

<入学選抜の基本方針>

学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性」について評価するが、どの要素をより評価するかは入試種別ごとに異なる。

1. 学校推薦型選抜

学校長の推薦に基づいて出願するもので、調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。高校在学時の成果を測ることを目的とするため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。そして、指定校制学校推薦型選抜および公募制学校推薦型選抜(学業評価型)では「思考力・判断力・表現力」を、公募制学校推薦型選抜(検定資格評価型)では「知識・技能」を、より評価する。調査書などの出願書類については、高校までの学習状況や特別活動の記録を確認する。また面接は複数の面接者による個別面接を実施し、志望理由、大学での勉学目標、将来の目標などを確認する。

2. 総合型選抜

調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。大学入学後の意欲を測ることを目的とするため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。そして、一般総合型選抜(適性試験型・検定資格評価型)および給費生総合型選抜(検定資格評価型・卒業教員連携型)では「知識・技能」を、給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では「思考力・判断力・表現力」を、給費生総合型選抜(探究学習評価型)、一般総合型選抜(活動評価型)、併願総合型選抜(活動評価型)および文化・スポーツ実績総合型選抜では「主体性」を、より評価する。給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では、面接とは別に課題テーマに関するプレゼンテーションを課しており、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点を重視し評価する。給費生総合型選抜(探究学習評価型)では、面接とは別に探究学習レポートおよび口頭試問において、探究学習を通じた主体的な行動力・思考力・知的好奇心といった点を重視し評価する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、読解力、語学力、数理能力、社会的な基礎知識)を持っているかを学力試験、調査書などの書類審査を通じて測る。学力試験では、高校の授業に準拠した内容を問うものとし、高校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも「知識・技能」をより評価する。個別試験型(給費生選抜)では、学力試験の成績が特に優秀な者を給費生として選抜する。

商経学部 商学科のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

商学科では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの達成のため、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能を持ち、三言語(自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計)および商学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生を受け入れる。ここにいう「商学」とは、マーケティング、ファイナンス、簿記・会計などについて研究する学問分野であり、これらの研究を通じて、商品の開発と流通、貨幣流通、会計に関する知識を備えた人材を養成することが、商学科の教育目的である。

<求める学生像>

- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と、幅広い教養教育で知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・協働性・公平性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 商学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ 日商簿記検定に代表される簿記資格や、マーケティング、ファイナンスにかかわる資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲がある学生

<入学選抜の基本方針>

学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性」について評価するが、どの要素をより評価するかは入試種別ごとに異なる。

1. 学校推薦型選抜

学校長の推薦に基づいて出願するもので、調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。高校在学時の成果を測ることを目的とするため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。そして、指定校制学校推薦型選抜および公募制学校推薦型選抜(学業評価型)では「思考力・判断力・表現力」を、公募制学校推薦型選抜(検定資格評価型)では「知識・技能」を、より評価する。調査書などの出願書類については、高校までの学習状況や特別活動の記録を確認する。また面接は複数の面接者による個別面接を実施し、志望理由、大学での勉学目標、将来の目標などを確認する。

2. 総合型選抜

調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。大学入学後の意欲を測ることを目的とするため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。そして、一般総合型選抜(適性試験型・検定資格評価型)および給費生総合型選抜(検定資格評価型・卒業教員連携型)では「知識・技能」を、給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では「思考力・判断力・表現力」を、給費生総合型選抜(探究学習評価型)、一般総合型選抜(活動評価型)、併願総合型選抜(活動評価型)および文化・スポーツ実績総合型選抜では「主体性」を、より評価する。給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では、面接とは別に課題テーマに関するプレゼンテーションを課しており、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点を重視し評価する。給費生総合型選抜(探究学習評価型)では、面接とは別に探究学習レポートおよび口頭試問において、探究学習を通じた主体的な行動力・思考力・知的好奇心といった点を重視し評価する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、読解力、語学力、数理能力、社会的な基礎知識)を持っているかを学力試験、調査書などの書類審査を通じて測る。学力試験では、高校の授業に準拠した内容を問うものとし、高校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも「知識・技能」をより評価する。個別試験型(給費生選抜)では、学力試験の成績が特に優秀な者を給費生として選抜する。

商経学部 経済学科のアドミSSION・ポリシー(入学受入れ方針)

経済学科では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの達成のため、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能を持ち、三言語(自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計)および経済学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生を受け入れる。ここにいう「経済学」とは、ミクロ経済学・マクロ経済学・政治経済学などの理論分野、財政学・金融論などの政策分野、統計学・計量経済学などの実証分野、経済史・経済学説史などの歴史分野について研究する学問分野であり、これらの研究を通して、経済の仕組み、市場経済の法則を理解できる人材を養成することが、経済学科の教育目的である。

<求める学生像>

- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と、幅広い教養教育で知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・協働性・公平性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 経済学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ 実学としての経済学を学び、社会全般に通じるビジネススキルを修得する意欲がある学生

<入学者選抜の基本方針>

学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性」について評価するが、どの要素をより評価するかは入試種別ごとに異なる。

1. 学校推薦型選抜

学校長の推薦に基づいて出願するもので、調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。高校在学時の成果を測ることを目的とするため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。そして、指定校制学校推薦型選抜および公募制学校推薦型選抜(学業評価型)では「思考力・判断力・表現力」を、公募制学校推薦型選抜(検定資格評価型)では「知識・技能」を、より評価する。調査書などの出願書類については、高校までの学習状況や特別活動の記録を確認する。また面接は複数の面接者による個別面接を実施し、志望理由、大学での勉学目標、将来の目標などを確認する。

2. 総合型選抜

調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。大学入学後の意欲を測ることを目的とするため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。そして、一般総合型選抜(適性試験型・検定資格評価型)および給費生総合型選抜(検定資格評価型・卒業教員連携型)では「知識・技能」を、給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では「思考力・判断力・表現力」を、給費生総合型選抜(探究学習評価型)、一般総合型選抜(活動評価型)、併願総合型選抜(活動評価型)および文化・スポーツ実績総合型選抜では「主体性」を、より評価する。給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では、面接とは別に課題テーマに関するプレゼンテーションを課しており、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点を重視し評価する。給費生総合型選抜(探究学習評価型)では、面接とは別に探究学習レポートおよび口頭試問において、探究学習を通じた主体的な行動力・思考力・知的好奇心といった点を重視し評価する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、読解力、語学力、数理能力、社会的な基礎知識)を持っているかを学力試験、調査書などの書類審査を通じて測る。学力試験では、高校の授業に準拠した内容を問うものとし、高校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも「知識・技能」をより評価する。個別試験型(給費生選抜)では、学力試験の成績が特に優秀な者を給費生として選抜する。

商経学部 経営学科のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

経営学科では、伝統と実績を重んじ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの達成のため、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能を持ち、三言語(自然言語＝外国語、人工言語＝コンピュータ、会計言語＝簿記・会計)および経営学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生を受け入れる。ここにいう「経営学」とは、企業経営、起業、事業承継、経営診断、管理会計などについて研究する学問分野であり、これらの研究を通して、企業組織と経営の在り方を学び、資本・人材・技術力の活用と運営ができる人材を養成することが、経営学科の教育目的である。

<求める学生像>

- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と、幅広い教養教育で知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・協働性・公平性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 経営学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ 日商簿記検定に代表される簿記資格や、中小企業診断士、経営学検定、ビジネス会計検定などの資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲がある学生

<入学選抜の基本方針>

学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性」について評価するが、どの要素をより評価するかは入試種別ごとに異なる。

1. 学校推薦型選抜

学校長の推薦に基づいて出願するもので、調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。高校在学時の成果を測ることを目的とするため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。そして、指定校制学校推薦型選抜および公募制学校推薦型選抜(学業評価型)では「思考力・判断力・表現力」を、公募制学校推薦型選抜(検定資格評価型)では「知識・技能」を、より評価する。調査書などの出願書類については、高校までの学習状況や特別活動の記録を確認する。また面接は複数の面接者による個別面接を実施し、志望理由、大学での勉学目標、将来の目標などを確認する。

2. 総合型選抜

調査書などの出願書類および面接を通じて、「求める学生像」を体現する可能性を測る。大学入学後の意欲を測ることを目的とするため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。そして、一般総合型選抜(適性試験型・検定資格評価型)および給費生総合型選抜(検定資格評価型・卒業教員連携型)では「知識・技能」を、給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では「思考力・判断力・表現力」を、給費生総合型選抜(探究学習評価型)、一般総合型選抜(活動評価型)、併願総合型選抜(活動評価型)および文化・スポーツ実績総合型選抜では「主体性」を、より評価する。給費生総合型選抜(プレゼンテーション型)では、面接とは別に課題テーマに関するプレゼンテーションを課しており、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点を重視し評価する。給費生総合型選抜(探究学習評価型)では、面接とは別に探究学習レポートおよび口頭試問において、探究学習を通じた主体的な行動力・思考力・知的好奇心といった点を重視し評価する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、読解力、語学力、数理能力、社会的な基礎知識)を持っているかを学力試験、調査書などの書類審査を通じて測る。学力試験では、高校の授業に準拠した内容を問うものとし、高校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも「知識・技能」をより評価する。個別試験型(給費生選抜)では、学力試験の成績が特に優秀な者を給費生として選抜する。

政策情報学部のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

政策情報学部では、徹底した現場主義で地域社会に関わり、IT やメディア表現の技術を学ぶ中で、教員と学生が一体となって、学生のチャレンジを支える教育を実践する。その実現に向け、「地域政策」と「メディア情報」の2つのコースを柱として、「問題発見・問題解決」のために学問を幅広く横断的に学ぶための教育課程を編成・実施し、現代社会の問題に果敢に取り組み、行動することを学び、解決する力を身につける意欲のある学生を歓迎する。

<求める学生像>

- ◆ 政策情報学部の教育理念に共感し、積極的に社会問題に取り組むために必要な基礎学力と、分野を超えて幅広く学ぶ強い意欲がある。
- ◆ メディア技術を駆使して、自由で柔軟な発想で独創的な活動・作品を創造する意欲がある。
- ◆ 教員や他の学生と一緒に活動しながら、表現力・コミュニケーション能力を高め、共に問題解決を実現させる意欲がある。
- ◆ 既存の価値観を越えるような変革をもたらすべく、探究心を持って主体的に活動できる行動力がある。
- ◆ 学生時代に培った企画力を活かして、卒業後は社会に貢献する意欲がある。
- ◆ 留学生など日本語を母語としない学生においては、日常生活や大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分に出来る能力がある。

<入学受入れの基本方針>

政策情報学部の入学受入れでは、政策情報学部が目指す「問題発見・問題解決」の考え方について理解し、地域や社会においてそれを実現しようとする主体性、探究心、表現力、知識や技能について、総合的に判断し可否を判定する。

面接審査においては、入学後に学びたいこと、進みたいコース、受けた授業、将来などについて具体的に考えているかを問う。また、対話力、コミュニケーション力、アピール力も確認する。面接者からの質問に臨機応変に対応し、伝えたい内容を自分の言葉で説明する力が問われる。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高校までの学びや活動の成果、大学入学後に実現したいプランの具体性や実現性等の他、高校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験や記述式総合問題では、高校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、読解力、語学力、数理能力、社会的な基礎知識を高校の授業に準拠した内容によって問う。

1. 学校推薦型選抜

1-1) 指定校制学校推薦型選抜・公募制学校推薦型選抜(学業評価型)

この入試区分では、面接や調査書、修学計画書に加えて、小論文を重視する。

1-2) 公募制学校推薦型選抜(検定資格評価型)

この入試区分では、面接や調査書、修学計画書に加えて、資格・検定を重視する。

2. 一般選抜

一般選抜では、特に成績優秀な者を給費生として選抜する。

2-1) 個別試験型

この入試区分では、特に、学力試験や記述式総合問題と調査書などの書類審査に基づき可否を総合的に判断する。

2-2) 共通テスト型

この入試区分では、特に、共通テストの結果と調査書などの書類審査に基づき可否を総合的に判断する。

3. 総合型選抜

3-1) 給費生総合型選抜

給費生総合型選抜では、特に成績優秀な者を給費生として選抜する。

【プレゼンテーション型】

この入試区分で実施するプレゼンテーションでは、特に、関心のある地域や社会が抱える問題について、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示を高く評価する。

【検定資格評価型】

この入試区分では、面接、修学計画書に加えて、資格・検定を高校までの学びや活動の成果として重視する。

【卒業教員連携型】

この入試区分では、面接、修学計画書に加えて、調査書や小論文を重視する。

【探究学習評価型】

この入試区分では、面接、修学計画書に加えて、探究学習レポートや口頭試問を通じて探究学習の取り組み過程を重視する。

3-2) 一般総合型選抜(適性試験型)

この入試区分で実施する適性試験では、積極的に社会問題に取り組むために必要な基礎学力を有しているかを問う。

3-3) 一般総合型選抜(検定資格評価型)

この入試区分では、面接、修学計画書に加えて、資格・検定を高校までの学びや活動の成果として重視する。

3-4) 一般総合型選抜(活動評価型)

この入試区分では、面接、修学計画書に加えて、課外活動を重視する。この入試区分における課外活動とは、高校時代における課外活動や創作物といった活動の成果や、高校までの学びの成果としての資格・検定を指す。

3-5) 併願総合型選抜(活動評価型)

この入試区分では、調査書、面接、修学計画書に加えて、課外活動を総合的に評価する。この入試区分における課外活動とは、高校時代における課外活動や創作物といった活動の成果や、高校までの学びの成果としての資格・検定を指す。

2. 募集人員

学 部	学 科	募集人員
商 経 学 部	商 学 科	若干名
	経済学科	
	経営学科	
政策情報学部	政策情報学科	若干名

3. 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 国内の大学を卒業した者または 2026年3月までに卒業する見込みの者
- (2) 国内の短期大学、高等専門学校を卒業した者、または 2026年3月までに卒業する見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準(修学年限が2年以上、総授業時間が 1,700 時間以上)を満たすものを修了した者(学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る)、または 2026年3月までに修了する見込みの者
- (4) 高等学校、中等教育学校後期課程および特別支援学校高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者、または 2026 年3月までに修了する見込みの者
- (5) 修業年限4年以上の国内の大学において2年以上在学し、62単位以上を修得した者、または 2026年3月までに修得する見込みの者

4. 出願手続き

(1) 試験日程等

インターネット出願 受付期間	入学検定料 支払期限	出願書類 提出締切日	受験票公開日
2026年 1月26日(月) 9:00 ～ 2月 6日(金) 16:00	2月 6日(金) 17:00	2月 6日(金) 消印有効	2月16日(月) 17:00～

試 験 日	選考開始時刻	合格発表日	入学手続締切日	
			第 1 次	第 2 次
2月28日(土)	9:30～ または 13:30～	3月 7日(土) 17:00～	2026年 3月13日(金) 12:00	2026年 3月24日(火) 12:00

(注)1.出願および第2次入学手続きの提出書類は郵送受付とし、締切日消印有効とします。

2.受験票には、受験番号、集合時間等が記載されています。38頁の説明に従い、各自で印刷し試験当日に持参してください。

(2) 出願書類

No.	出 願 書 類	提出区分	書 式 等	
1	志願票 	●	インターネット出願サイトに登録後、A4サイズで印刷してください。	
2	出願書類 チェックシート 	●	提出書類チェック欄に○を記入し、出願書類に不足が無いよう提出してください。	
3	志望動機書・ 修学計画書 	●	自筆記入、鉛筆不可。	
4	検定資格取得報告書 	●	・ インターネット出願サイトに登録後、A4サイズで印刷してください。 ・ 検定資格の取得等が無く登録していない場合でも必ず提出してください。	
5	活動実績報告書 	●	自筆記入、鉛筆不可。	
6	活動実績証明資料	※	・ 検定資格取得報告書または活動実績報告書に記載した実績の証明資料を提出してください。 ・ 証明資料を提出する場合は、資料に対応する検定資格取得報告書または活動実績報告書の後ろにまとめてクリップ留めして提出してください(A4 サイズ、コピー可)。	
7	小論文 	●	自筆記入・鉛筆不可(小論文課題は11、12頁参照)。	
8	卒業(修了)証明書等 または 見込証明書の原本	●	出願資格(1)・(2)	卒業(修了)証明書または見込証明書
			出願資格(3)	専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準(修学年限が2年以上、総授業時間が1,700時間以上)を満たす課程を修了(見込)した者である旨が記載された証明書
			出願資格(4)	高等学校等の専攻科の課程(修学年限が2年以上、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込)した者である旨が記載された証明書
			出願資格(5)	在学証明書または在学期間証明書
9	成績証明書の原本	●	・ 単位修得状況が記載されたものとします。 ・ 出願資格(3)、(5)により出願する者で出願時に履修中の授業科目がある場合は、成績証明書備考欄にその旨を記載したものまたは授業科目履修証明書(単位数明記)を提出してください。	
10	在留カードのコピー	※	・ 日本国籍を有さない(外国籍の)者は必ず提出してください。 ・ 在留カードは(両面)のコピーを提出してください。	
11	<日本語の能力に関する証明書> ・ 日本留学試験(EJU) ・ 日本語能力試験(JLPT) ・ 実用日本語検定(J.TEST) いずれかの 成績証明書等のコピー	※	・ 日本国籍を有さない(外国籍の)者のうち、「短期滞在」以外の在留資格で日本入国後の在留期間が9年以内の場合は必ず提出してください。 ・ 左記の書類のうち、提出可能なものを1点以上提出してください。 ・ EJU は日本語、JLPT は N1または N2、J.TEST は A-C レベルの成績証明書等のコピーを提出してください(EJU を2024 年 6 月以降に受験した場合は、その受験票でも可)。	
12	診断書等	※	・ 疾病等により受験および修学に配慮を必要とする場合は提出してください(30頁参照)。 ・ 該当者は、出願する前に必ず本学入学センターに相談してください。	

(注) ●印は全員提出してください。※印は該当者のみ提出してください。



インターネット出願登録完了時に印刷する提出書類です。
出願受付期間中にのみ出願登録をすることができます。詳細は31頁を参照してください。



本学 Web サイト

[「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「インターネット出願」](#)

※本学 Web サイトにて公開している提出書類です。A4 サイズ(縦・片面)で印刷してください。
出願受付期間前に印刷をし、事前に提出書類の記入・準備をすることが可能です。



5. 選考方法

提出書類の審査および面接により合否を総合的に判定します。面接は 20 分程度の個人面接とし、3分間程度の自己アピールを含みます。

評価方法	商経学部	政策情報学部
書類審査	20 点	20 点
面接審査	20 点	20 点
合計	40 点	40 点

6. 面接試験会場

千葉商科大学 市川キャンパスでの対面面接(面接控室[集合場所])は、当日学内に掲示します)

※オンライン面接不可

7. 小論文課題

志望する学部・学科に出題されている複数の課題から1つ選択し、本学所定の原稿用紙に1,000字程度で記述してください(自筆記入・鉛筆不可)。記述内容を面接で確認することがあります。

なお、参考文献は所定の記入欄に書ききれない場合は別紙に記入してください(様式は任意、Word等のパソコン作成可)。

選択対象でない課題を提出すると、減点もしくは審査対象外となる場合があります。

学部	小論文課題
商 経	商学科・経営学科
	① 近年、世界中の観光地で訪問客の著しい増加が問題となっています。この現象は「オーバーツーリズム」と呼ばれ、地域社会や自然環境に多くの弊害をもたらしています。ここでは、あなたの住む地域や訪れたことのある観光地などでオーバーツーリズムが起きている具体的な事例を挙げた上で、その問題にどのように対処するべきかを関連する文献・資料やデータを参照しながら論じてください。 ② 男性は働き、女性は家庭を守るべきといったような「性別に基づく役割分担」に対し、近年、社会全体で見直しが進んでいます。ここでは、あなたが問題意識を持つ「性別に基づく役割分担」の具体的な事例を挙げた上で、そのような役割分担が現代社会において受け入れられるべきか否かを、関連する文献・資料やデータを参照しながら論じてください。 ③ あなたは、小規模なビジネスを始めることを考えています。関連する企業や団体のビジネスモデルやインタビュー記事などを調べた上で、数人で運営可能な形でビジネス化するアイデアを考案してください。その際、事業の目的、提供する商品・サービス、ターゲット顧客、販売方法などを明確にしてください。
	経済学科
	① ここ数年、日本では物の価格が上昇し、実質賃金は減少している傾向にあると言われています。このような経済状況が経済格差にどのような影響を及ぼしているのかについて、物価上昇に対して実質賃金が追いつかない理由や政府の対策に触れつつ自らの意見を論じてください。 ② 近年、日本国内ではキャッシュレス決済手段が急速に普及しています。キャッシュレス決済の普及が個人の生活や社会にどのような変化や影響をもたらしているのかについて、キャッシュレス決済の利点や欠点に触れつつ自らの意見を論じてください。 ③ インターネット上では様々な情報が発信されており、生活・学習・仕事等の様々な場面で役に立つ情報が手に入るようになっていきます。一方で、偽情報・誤情報ははじめとする真偽が不確かな情報が流通することが課題となっています。あなたのこれまでの経験、または、新聞・ニュース記事等の内容にもとづいて、真偽が不確かな情報の事例を紹介してください。そして、真偽が不確かな情報に接した場合にとるべき対処方法を論じてください。

学部	小論文課題
政策情報	① 地球気候変動の進展に伴い、日本においても歴史上類を見ない規模の暴風雨、暴風雪が発生するようになっています。天気予報の精度向上や気象情報アプリケーションの開発が進んだことによって、私たちは事前に多くの情報を入手できるようになりましたが、逃げ遅れてしまう人も中にはいます。 避難指示が発せられて、避難する時間が十分あると考えられるケースにおいても、逃げ遅れる人が発生してしまう原因としてどのようなものが考えられるでしょうか。そうした原因に対して、あなたが居住する「まち」※はどのような対策を打っていけるでしょうか。多角的かつ具体的に論じてください。 ※あなたが紹介する「まち」の正式名称(千葉県〇〇市、東京都〇〇区、埼玉県〇〇郡〇〇町など)をレポートの中で明記してください。 ② あなたは、あなたが居住している「まち」※¹(市・町・村・区など)の魅力をアピールする広報大使になりました。そこで、その「まち」の特徴や良いところ、場所や人びとの営みなどについて調べたうえで、既存のものにはない、あなたの目で見たい伝えたい「まち」の事柄に関して、どのようなメディア※²を用いて伝えてみたいか、具体的な企画内容を書いてください。 ※1 あなたが紹介する「まち」の正式名称(千葉県〇〇市、東京都〇〇区、埼玉県〇〇郡〇〇町など)をレポートの中で明記してください。 ※2 デザイン(ポスター、キャラクター、ロゴマーク、グッズ、ウェブサイト)、映像(ドキュメンタリー、バラエティ、ドラマ、映画、ミュージックビデオ、アニメーション、プロジェクションマッピング)、アプリ、ゲーム、VR など。 ③ インターネット上では様々な情報が発信されており、生活・学習・仕事等の様々な場面で役に立つ情報が手に入るようになっています。一方で、偽情報・誤情報をはじめとする真偽が不確かな情報が流通することが課題となっています。あなたのこれまでの経験、または、新聞・ニュース記事等の内容にもとづいて、真偽が不確かな情報の事例を紹介してください。そして、真偽が不確かな情報に接した場合にとるべき対処方法を論じてください。

第2年次編入学

1. アドミッション・ポリシー

千葉商科大学のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

「アドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)」とは、千葉商科大学が入学を希望する方に求める能力や資質に関する考え方のことです。

本学では、建学の精神に基づき、「実学教育」を通じて創設者・遠藤隆吉が唱える「治道家」を育成することを教育の理念とする。

治道家とは、「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」を指す。

<本学の求める学生像>

- ◆【基礎的な学力】高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆【高い倫理観】実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆【幅広い教養】実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身に付けようとする意欲を持つ学生
- ◆【専門的な知識・技能】実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生

<入学選抜の基本方針>

一般選抜では、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を、主に学力試験によって測り選抜する。レベルとしては高等学校の授業に準拠した内容を問うものとする。幅広い範囲からの出題とし、高等学校までに学んだことが正しく理解できているかを評価する。

総合型選抜、学校推薦型選抜および特別選抜では、本学の求める学生像を体現する意欲や適性を、面接試験や書類審査などで測り選抜する。

全選抜方式で、高等学校における学習状況や特別活動の記録などを調査書等で確認し可否の判断材料の一つとする。全体の学習成績の状況等は出願要件に含まれることもある。

※大学および各学部・学科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、本学 Web サイト(<https://www.cuc.ac.jp/>)→「学部・大学院」→「各学部ページ」→「3つのポリシー」を参照してください。

商経学部のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

商経学部では、伝統と実績を重んじつつ、実学の真の楽しさ・面白さを追求し、劇的に変化する経済や社会に対して柔軟に対応し、高い倫理観を持って企業活動を変革できる人材、『ビジネスプロフェッショナル』人材を育成することが教育目標である。

上記の教育目標に基づくディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーの達成のため、本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能を持ち、商学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生を受け入れる。

<求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 商学・経営学を中心とした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ さまざまな資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

<入学選抜の基本方針>

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

〔プレゼンテーション型〕プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜、一般選抜型〕文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

商経学部 商学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

商学科では、ビジネス・経済・社会に関する幅広い専門的知識と、問題発見と分析能力を身につけ、多様な意見や考え方を尊重し、社会の発展に主体的・組織的に貢献する人材の育成を教育目標とする。

具体的には、マーケティング、ファイナンス、簿記会計に関する知識を備え、経済活動の運営・管理や維持・発展に関する知識・データ・情報技術に基づいて企業や社会の課題を発見して解消に取り組むことができる人材を育成する。

<求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 商学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ 日商簿記検定に代表される簿記資格や、マーケティング、ファイナンスにかかわる資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

<入学者選抜の基本方針>

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

(3) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

(4) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

〔プレゼンテーション型〕プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜、一般選抜型〕文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

商経学部 経営学科のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

経営学科では、社会人として生きていくために必要な知識、技能、問題発見と分析能力を身につけ、ビジネス・経済・社会に関して、その多様性を多面的・多角的な視点から理解し、異なる背景や意見を持つ人々と効果的にコミュニケーションをとることで、社会の発展に主体的・組織的に貢献する人材の育成を教育目標とする。

具体的には、経営に関わる諸理論の理解を踏まえ、企業などの経済活動の運営・管理や維持・発展に関する具体的知識・データに基づいて経営課題を発見して解消に取り組むことができる人材を育成する。

<求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し解決するための専門教育と幅広い教養教育で、知識・技能を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の多様な人々との連携とアクティブラーニングにより、主体性・多様性・協働性を身につける意欲を持つ学生
- ◆ 上記の学びを通して思考力・判断力・表現力・高い倫理観を修得する意欲を持つ学生
- ◆ 経営学をはじめとした社会科学全般の学びに積極的に取り組む学生
- ◆ 日商簿記検定に代表される簿記資格や、中小企業診断士、経営学検定、ビジネス会計検定などの資格取得を通じてビジネススキルを修得する意欲を持つ学生

<入学受入れの基本方針>

面接試験においては、志望理由、大学での修学意欲、将来の目標などを確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するため、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて、「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。高等学校在学時の成果をはかるため、面接と比較して調査書などの出願書類をより重視する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて「求める学生像」を体现する可能性をはかり、総合的に可否を判定する。大学入学後の意欲をはかるため、調査書などの出願書類と比較して面接をより重視する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

〔プレゼンテーション型〕プレゼンテーションでは特に、課題への理解・表現の明確さ・プレゼンテーションの工夫・質疑応答の的確さ・時間配分の適当さといった点から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲、知的好奇心といった点から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜、一般選抜型〕文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

本学の学士課程の教育にふさわしい知識・技能(理解力、数理能力、表現力、語学力)を持っているかを学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づいて評価し、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

総合政策学部のアDMISSION・POLICY(入学受入れ方針)

総合政策学部では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

<求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
- ◆ 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学などの諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 入学後に学ぶ理論や技能を実社会の現象や課題と結びつけて深く理解し、修得した専門的能力を総合的に応用して、実社会の課題解決に取り組む意欲を持つ学生

<入学受入れの基本方針>

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理解能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

〔プレゼンテーション型〕プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜、一般選抜型〕文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

総合政策学部 経済学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

経済学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

<求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
- ◆ 経済学を中心とした社会科学の諸分野を学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 経済学の理論や実証分析の方法を学んだ上で、経済・社会における諸課題の解決に向けた政策立案や原因探究に取り組む意欲を持つ学生
- ◆ 企業行動や地域産業の動向など、実学としての経済学を学び、社会全般に通じるビジネススキルを修得しようとする意欲を持つ学生

<入学者選抜の基本方針>

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型]小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

[プレゼンテーション型]プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[卒業教員連携型]人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[探究学習評価型]探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

[適性試験型]高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

[学力評価型]高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

[特待生選抜、一般選抜型]文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

総合政策学部 政策情報学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入れ方針)

政策情報学科では、社会の多様な課題について考察するとともに、具体的な解決策を導く力を持つ人材の育成を目的とする。

<求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の学修に必要な基礎的な学力を身につけている学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、その解決に主体的能動的に取り組む使命感とモラルを身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会の変化に即応し、多様な人々との協働に必要な豊かな人間性を形成するための普遍的な知識とコミュニケーション力を身につけようとする意欲を持つ学生
- ◆ 実社会における諸課題を発見し、解決するための有用かつ高度な専門的能力を修得しようとする意欲を持つ学生
- ◆ 法学、行政学、公共政策、経済学、社会学の諸分野を横断的に学ぶ意欲を持つ学生
- ◆ 公共政策とまちづくりを学んだ上で、地域社会の活動へ主体的に参加し、社会を構成する多様な人々と共創的に活動する意欲を持つ学生
- ◆ デジタルメディア技術を駆使して課題解決する意欲を持つとともに、人々の共感を呼ぶメディア表現技法を修得して、公共政策、まちづくり、ビジネスで活用しようとする意欲を持つ学生

<入学者選抜の基本方針>

面接試験においては、大学での勉学意欲、将来の目標について具体的に考えているかを問う。また、面接者からの質問に対する理解力や、伝えたい内容を自分の言葉で説明する表現力を確認する。

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

[学業評価型]小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

面接、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

[プレゼンテーション型]プレゼンテーションでは特に、社会の諸課題への理解、調査と分析を踏まえたユニークな解決案の提示、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[卒業教員連携型]人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

[探究学習評価型]探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

[適性試験型]高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

[検定資格評価型]検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

[活動評価型]課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

[学力評価型]高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

[特待生選抜、一般選抜型]文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査に基づき、総合的に可否を判定する。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績等から、大学における日本語の基本的なコミュニケーションが十分にできる能力があるかを評価し、面接試験では「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

面接、調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し、給費生として選抜する。

サービス創造学部のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

サービス創造学部では、これからの新しい社会で求められるサービス創造人材の育成を目指している。そのため、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「3つの学び」を中心としたカリキュラムを通して学んでいく意思を強く持ち、多くの公式サポーター企業の協力の下、そうした学びの機会を積極的に活用して他者とともに成長する意欲のある学生を歓迎する。

<求める学生像>

- ◆ ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)
サービス創造に関する高い社会的関心を有し、自身の将来目標や学修目標を明確に設定しながら、サービス創造を学び続ける意欲、サービス創造に向けた実践的な学びに主体的に関わっていく意欲のある学生
- ◆ 基礎学力
サービス創造学部の学びを修めていくために必要となる、基礎的な知識、思考力、表現力等について、高等学校までの教育課程で幅広く習得し、かつ、その内容を十分に身につけている学生
- ◆ 協調性および社会的マナー
他者と責任を持って協働する態度、ならびに、学内外の様々な人々と交流して協働を通じた学びを実現していくための、品格、社会性を備えた学生
- ◆ 実行力
目標達成に必要な物事を的確に見極め、それらを最後まで成し遂げるために自ら積極的に努力することのできる学生

<入学受入れの基本方針>

調査書や修学計画書等の書類審査においては、高等学校までの学びや活動の成果、大学入学後の修学計画の具体性や実現性の他、高等学校時代に取得した資格の証明書や創作物などの活動成果も評価に加味する。

面接試験においては、「学問から学ぶ」「企業から学ぶ」「活動から学ぶ」の「3つの学び」を中心とする学部カリキュラムを理解し、入学後の学修目標を具体的に定めてくと同時に、高等学校在学中に努力してきたことを詳しく説明できるかを確認する。

学力試験等では、高等学校までに学んできたことが正しく理解できているかを評価するために、理解力、数理能力、表現力、語学力を高等学校の授業に準拠した内容ではかる。

1. 学校推薦型選抜

「ビジョン(将来構想)とパッション(情熱)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、学校長の推薦書および調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

「ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、調査書、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜

特に成績優秀で、様々な学びの場でリーダーとして活躍できる人物であると判断された場合、給費生に認定する。

〔プレゼンテーション型〕プレゼンテーションでは特に、課題への理解、課題解決に向けた発想力と論理展開力、表現の明確さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経

験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、適性試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動における優れた取り組みや活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動における優れた取り組みや活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校までの学びを正しく理解できているか、基礎学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。また、サービス創造学部で成長していくために求められる〈求める学生像〉との適合性については、面接試験を通じて評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜、一般選抜型〕文化部、運動部等における優れた活動実績から「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

サービス創造の学びに必要な基礎学力を備えていることを、学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査を通じて判断し、総合的に合否を判定する。本選抜においても、サービス創造学部で成長していくために求められる「ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点についての重要性を理解していることが求められる。

給費生選抜では、特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。主体性評価型では高等学校での学びに取り組む過程および大学進学後の学びに対する意欲から「主体性」を評価する。個別試験型および共通テスト型いずれも、「知識・技能」を重視し評価する。

(1) 個別試験型

学力試験の成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、記述式総合問題では「思考力・判断力・表現力」を、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(3) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績から「知識・技能」を重視し評価する。加えて、調査書等では高等学校までの学びの成果として課外活動「主体性・多様性・協働性」や、資格・検定「知識・技能」などの成果を総合的に評価する。

(4) 特別選抜

「ビジョン(将来構想)とパッション(熱意)」、「基礎学力」、「協調性および社会的マナー」、「実行力」の4点について、面接試験、修学計画書、小論文等を用いて評価し、総合的に合否を判定する。

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

日本語能力試験の成績から、「知識・技能」を評価し、面接試験においては「主体性・多様性・協働性」を重視し評価する。

〔全国商業高等学校長協会推薦特別選抜〕

本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し給費生として選抜する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を評価し給費生として選抜する。

人間社会学部のアドミッション・ポリシー(入学受入れ方針)

人間社会学部では、持続可能性(サステナビリティ)が求められる現代社会で活躍できる人材を育成することを目的としている。そのためには、持続可能で誰もがよりよく生きられる世界を構想する力と実践力を身に付けることが望ましい。そのような構想をするためには、人・社会・自然にかかわる事象・問題に対する幅広い関心を持ち、自ら調べていくことが必要である。また、構想の下で実践的な活動をするためには、多様な他者への理解と尊重を基盤とする協働が不可欠である。社会学を中心に、経済学、政治学、環境学、社会福祉学など幅広い学問を学ぶことで世界を知り、社会的課題を自ら調べ、多様な他者とともに協働し、実践に積極的に取り組み、持続可能な世界の実現に向けて学修していく意欲を持った学生を歓迎する。

<求める学生像>

- ◆ 高等学校の教育課程を幅広く修得し、修学に必要な基礎学力を有する、知識を広げるために自分自身で深く調べる意欲のある学生(知識・技能)
- ◆ 持続可能で誰もがよりよく生きられる世界を構想し実現しようとする意欲のある学生(思考力・判断力・表現力)
- ◆ 論理的な思考力と精確な読解力、的確な発信力を持つ意欲のある学生(思考力・判断力・表現力)
- ◆ 多様性の理解に向けて、異なる文化、社会、歴史的背景を持つ人々の主張を尊重し、活発な意見交換をする意欲のある学生(主体性・多様性・協働性)
- ◆ 学内外の様々な他者と連携して実践的な学びに自分から関わっていく積極性と協働性を持つ意欲のある学生(主体性・多様性・協働性)

<入学受入れの基本方針>

人間社会学部の入学受入れでは、「求める学生像」で示した力を以下の方法によって評価する。

面接試験では、主に、持続可能な社会の実現を求める意欲、論理的な思考力や的確な発信力、多様性の理解、学びに対する積極性、課題に取り組む協働性などを総合的に評価する。調査書や修学計画書では、高等学校における学びに対する積極性、他者との協働性を評価する。検定資格取得報告書および学力試験等では、高等学校までの基礎学力および精確な読解力を評価する。具体的な選抜の方針は以下である。

1. 学校推薦型選抜

面接、学校長の推薦書および調査書、小論文等を用いて主に「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 指定校制学校推薦型選抜

推薦書、調査書、小論文の内容から主に「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

(2) 公募制学校推薦型選抜

〔学業評価型〕推薦書、調査書、小論文の内容から「知識・技能」を確認する。特に、主に「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕推薦書、調査書、検定・資格の保有状況から主に「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」および「思考力」、「発信力」、「積極性」を重視し評価する。

2. 総合型選抜

修学計画書、小論文、面接等を用いて主に「思考力」および「発信力」、「多様性の理解」、「積極性」、「協働性」を評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 給費生総合型選抜

特に優秀な人物を給費生として選抜するために、課題への探究的な取り組みや資格保有の状況、卒業教員による人物評価を選抜方法とする。

〔プレゼンテーション型〕課題の理解、データ収集手法の適切さ、プレゼンテーションの工夫、質疑応答の的確さ等から「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「多様性の理解」および「読解力」、「発信力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを重視し評価する。

〔卒業教員連携型〕人物評価書や調査書、小論文の内容から「思考力・判断力・表現力」を確認する。特に、「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

〔探究学習評価型〕探究学習レポートおよび口頭試問から、探究学習での自身の行動、取り組みの論理的な整理・説明、経験を通じて得た学びと意欲等から「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に、「多様性の理解」および「積極性」、「協働性」を重視し評価する。

(2) 一般総合型選抜

〔適性試験型〕適性試験の成績を踏まえ「知識・技能」を確認する。特に、面接から「思考力」、「発信力」を重視し評価する。

〔検定資格評価型〕検定・資格の保有状況から「知識・技能」を確認する。特に「基礎学力」を有していることを重視し評価する。

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

(3) 併願総合型選抜

〔活動評価型〕課外活動の取り組みから「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

〔学力評価型〕高等学校で学んだ各教科・科目に係る理解ができているか、基礎学力試験から「知識・技能」を重視し評価する。特に優秀な成績を収めた者を給費生として選抜する。

(4) 文化・スポーツ実績総合型選抜

〔特待生選抜、一般選抜型〕文化部、運動部等の活動実績から「主体性・多様性・協働性」を確認する。特に、「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

3. 一般選抜

学力試験や記述式総合問題、大学入学共通テストの成績、調査書等の書類審査を用いて主に「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、総合的に可否を判定する。

(1) 個別試験型

個別試験の成績を中心とし、これに調査書の評価を加味して「基礎学力」を評価する。学力試験においては指定科目型では特に「国語」を重視する。

(2) 共通テスト型

大学入学共通テストの成績を中心とし、これに調査書の評価を加味して「基礎学力」を評価する。

4. 特別選抜

(1) 外国人留学生特別選抜、外国にルーツを持つ生徒対象特別選抜

面接、修学計画書、小論文、日本語能力試験の成績等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。日本語能力試験の成績から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、面接試験では「積極性」および「協働性」を重視し評価する。

(2) 全国商業高等学校長協会推薦特別選抜

調査書、修学計画書等を用いて評価し、総合的に可否を判定する。本学指定の高難易度資格取得実績から「知識・技能」を確認する。特に、「基礎学力」を有していることを評価し、給費生として選抜する。

2. 募集人員

学 部	学 科	募集人員
商 経 学 部	商 学 科	若干名
	経営学科	
総合政策学部	経済学科	若干名
	政策情報学科	
サービス創造学部	サービス創造学科	若干名
人間社会学部	人間社会学科	若干名

3. 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 国内の大学を卒業した者または 2026年3月までに卒業する見込みの者
- (2) 国内の短期大学、高等専門学校を卒業した者、または 2026年3月までに卒業する見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準(修学年限が2年以上、総授業時間が 1,700 時間以上)を満たすものを修了した者(学校教育法第 90 条第1項に規定する者に限る)、または 2026年3月までに修了する見込みの者
- (4) 高等学校、中等教育学校後期課程および特別支援学校高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者、または 2026 年3月までに修了する見込みの者
- (5) 修業年限4年以上の国内の大学において1年以上在学し、30単位以上を修得した者、または 2026年3月までに修得する見込みの者

4. 出願手続き

(1) 試験日程等

インターネット出願 受付期間	入学検定料 支払期限	出願書類 提出締切日	受験票公開日
2026年 1月26日(月) 9:00 ～ 2月 6日(金) 16:00	2月 6日(金) 17:00	2月 6日(金) 消印有効	2月16日(月) 17:00～

試 験 日	選考開始時刻	合格発表日	入学手続締切日	
			第 1 次	第 2 次
2月 28 日(土)	9:30～ または 13:30～	3月 7 日(土) 17:00～	2026年 3月 13 日(金) 12:00	2026年 3月 24 日(火) 12:00

(注)1.出願および第 2 次入学手続きの提出書類は郵送受付とし、締切日消印有効とします。

2.受験票には、受験番号、集合時間等が記載されています。38頁の説明に従い、各自で印刷し試験当日に持参してください。

(2) 出願書類

No.	出 願 書 類	提出区分	書 式 等
1	志願票 	●	インターネット出願サイトに登録後、A4サイズで印刷してください。
2	出願書類 チェックシート 	●	提出書類チェック欄に○を記入し、出願書類に不足が無いよう提出してください。
3	志望動機書・ 修学計画書 	●	自筆記入、鉛筆不可。
4	検定資格取得報告書 	●	・ インターネット出願サイトに登録後、A4サイズで印刷してください。 ・ 検定資格の取得等が無く登録していない場合でも必ず提出してください。
5	活動実績報告書 	●	自筆記入、鉛筆不可。
6	活動実績証明資料	※	・ 検定資格取得報告書または活動実績報告書に記載した実績の証明資料を提出してください。 ・ 証明資料を提出する場合は、資料に対応する検定資格取得報告書または活動実績報告書の後ろにまとめてクリップ留めして提出してください(A4 サイズ、コピー可)。
7	小論文 	●	自筆記入・鉛筆不可(小論文課題は26～28頁参照)。
8	卒業(修了)証明書等 または 見込証明書の原本	●	出願資格(1)・(2) 卒業(修了)証明書または見込証明書
			出願資格(3) 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準(修学年限が2年以上、総授業時間が1,700時間以上)を満たす課程を修了(見込)した者である旨が記載された証明書
			出願資格(4) 高等学校等の専攻科の課程(修学年限が2年以上、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了(見込)した者である旨が記載された証明書
			出願資格(5) 在学証明書または在学期間証明書
9	成績証明書の原本	●	・ 単位修得状況が記載されたものとします。 ・ 出願資格(3)、(5)により出願する者で出願時に履修中の授業科目がある場合は、成績証明書備考欄にその旨を記載したものまたは授業科目履修証明書(単位数明記)を提出してください。
10	在留カードのコピー	※	・ 日本国籍を有さない(外国籍の)者は必ず提出してください。 ・ 在留カード(両面)のコピーを提出してください。
11	<日本語の能力に関する証明書> ・日本留学試験(EJU) ・日本語能力試験(JLPT) ・実用日本語検定(J.TEST) いずれかの 成績証明書等のコピー	※	・ 日本国籍を有さない(外国籍の)者のうち、「短期滞在」以外の在留資格で日本入国後の在留期間が9年以内の場合は必ず提出してください。 ・ 左記の書類のうち、提出可能なものを1点以上提出してください。 ・ EJU は日本語、JLPT は N1または N2、J.TEST は A-C レベルの成績証明書等のコピーを提出してください(EJU を2024年 6 月以降に受験した場合は、その受験票でも可)。
12	診断書等	※	・ 疾病等により受験および修学に配慮を必要とする場合は提出してください(30頁参照)。 ・ 該当者は、出願する前に必ず本学入学センターに相談してください。

(注) ●印は全員提出してください。※印は該当者のみ提出してください。



インターネット出願登録完了時に印刷する提出書類です。
出願受付期間中にのみ出願登録をすることができます。詳細は31頁を参照してください。



本学 Web サイト

[「本学で学びたい方」](#)→[「CUC-NAVI」](#)→[「入試案内」](#)→[「入試の流れ」](#)→[「インターネット出願」](#)

※本学 Web サイトにて公開している提出書類です。A4 サイズ(縦・片面)で印刷してください。
出願受付期間前に印刷をし、事前に提出書類の記入・準備をすることが可能です。



5. 選考方法

提出書類の審査および面接により合否を総合的に判定します。面接は 20 分程度の個人面接とし、3 分間程度の自己アピールを含みます。

評価方法	商経学部	総合政策学部	サービス創造学部	人間社会学部
書類審査	40点	40点	40点	40点
面接審査	60点	60点	60点	60点
合計	100点	100点	100点	100点

6. 面接試験会場

千葉商科大学 市川キャンパスでの対面面接(面接控室〔集合場所〕は、当日学内に掲示します)

※オンライン面接不可

7. 小論文課題

志望する学部・学科に出題されている複数の課題から1つ選択し、本学所定の原稿用紙に1,000字程度で記述してください(自筆記入・鉛筆不可)。記述内容を面接で確認することがあります。

なお、参考文献は所定の記入欄に書ききれない場合は別紙に記入してください(様式は任意、Word等のパソコン作成可)。選択対象でない課題を提出すると、減点もしくは審査対象外となる場合があります。

学部	小論文課題
商 経	商学科・経営学科
	① 近年、世界中の観光地で訪問客の著しい増加が問題となっています。この現象は「オーバーツーリズム」と呼ばれ、地域社会や自然環境に多くの弊害をもたらしています。ここでは、あなたの住む地域や訪れたことのある観光地などでオーバーツーリズムが起きている具体的な事例を挙げた上で、その問題にどのように対処するべきかを関連する文献・資料やデータを参照しながら論じてください。 ② 男性は働き、女性は家庭を守るべきといったような「性別に基づく役割分担」に対し、近年、社会全体で見直しが進んでいます。ここでは、あなたが問題意識を持つ「性別に基づく役割分担」の具体的な事例を挙げた上で、そのような役割分担が現代社会において受け入れられるべきか否かを、関連する文献・資料やデータを参照しながら論じてください。 ③ あなたは、小規模なビジネスを始めることを考えています。関連する企業や団体のビジネスモデルやインタビュー記事などを調べた上で、数人で運営可能な形でビジネス化するアイデアを考案してください。その際、事業の目的、提供する商品・サービス、ターゲット顧客、販売方法などを明確にしてください。

学部	小論文課題
総合政策	経済学科
	① ここ数年、日本では物の価格が上昇し、実質賃金は減少している傾向にあると言われています。このような経済状況が経済格差にどのような影響を及ぼしているのかについて、物価上昇に対して実質賃金が追いつかない理由や政府の対策に触れつつ自らの意見を論じてください。 ② 近年、日本国内ではキャッシュレス決済手段が急速に普及しています。キャッシュレス決済の普及が個人の生活や社会にどのような変化や影響をもたらしているのかについて、キャッシュレス決済の利点や欠点に触れつつ自らの意見を論じてください。 ③ インターネット上では様々な情報が発信されており、生活・学習・仕事等の様々な場面で役に立つ情報が手に入るようになっていきます。一方で、偽情報・誤情報をはじめとする真偽が不確かな情報が流通することが課題となっています。あなたのこれまでの経験、または、新聞・ニュース記事等の内容にもとづいて、真偽が不確かな情報の事例を紹介してください。そして、真偽が不確かな情報に接した場合にとるべき対処方法を論じてください。
	政策情報学科
	① 地球気候変動の進展に伴い、日本においても歴史上類を見ない規模の暴風雨、暴風雪が発生するようになっていきます。天気予報の精度向上や気象情報アプリケーションの開発が進んだことによって、私たちは事前に多くの情報を入手できるようになりましたが、逃げ遅れてしまう人も中にはいます。避難指示が発せられて、避難する時間が十分あると考えられるケースにおいても、逃げ遅れる人が発生してしまう原因としてどのようなものが考えられるでしょうか。そうした原因に対して、あなたが居住する「まち」※はどのような対策を打っていけるでしょうか。多角的かつ具体的に論じてください。 ※あなたが紹介する「まち」の正式名称(千葉県〇〇市、東京都〇〇区、埼玉県〇〇郡〇〇町など)をレポートの中で明記してください。 ② あなたは、あなたが居住している「まち」※¹(市・町・村・区など)の魅力をアピールする広報大使になりました。そこで、その「まち」の特徴や良いところ、場所や人びとの営みなどについて調べたうえで、既存のものにはない、あなたの目で見たい伝えたい「まち」の事柄に関して、どのようなメディア※²を用いて伝えてみたいか、具体的な企画内容を書いてください。 ※¹ あなたが紹介する「まち」の正式名称(千葉県〇〇市、東京都〇〇区、埼玉県〇〇郡〇〇町など)をレポートの中で明記してください。 ※² デザイン(ポスター、キャラクター、ロゴマーク、グッズ、ウェブサイト)、映像(ドキュメンタリー、バラエティ、ドラマ、映画、ミュージックビデオ、アニメーション、プロジェクションマッピング)、アプリ、ゲーム、VR など。 ③ インターネット上では様々な情報が発信されており、生活・学習・仕事等の様々な場面で役に立つ情報が手に入るようになっていきます。一方で、偽情報・誤情報をはじめとする真偽が不確かな情報が流通することが課題となっています。あなたのこれまでの経験、または、新聞・ニュース記事等の内容にもとづいて、真偽が不確かな情報の事例を紹介してください。そして、真偽が不確かな情報に接した場合にとるべき対処方法を論じてください。

学部	小論文課題
サービス創造	① 次の枠内の文章を参考にして、記述してください。 サービス創造とは、便利さ、快適さ、楽しさなどを生み出し、人や社会の幸福に貢献する活動です。私たちの暮らしは、多様なサービス業によって支えられており、現代はまさにサービス社会だと言えます。 サービス社会では、サービス業界に限らず、ビジネスに関するすべての活動にサービス創造が求められており、その成功はサービス創造の視点や発想の優劣に大きく関わっています。 サービスは、私たちの生活と深くかかわっています。商業施設(コンビニエンスストア、スーパーマーケット、専門店、デパート、ショッピングモールなど)、スポーツ施設(プロ野球の球場、Jリーグのスタジアム、スポーツクラブなど)、宿泊施設(旅館、ホテルなど)、交通機関(飛行機、鉄道、バス、タクシーなど)、通信機器(パソコン、インターネット、携帯電話など)、テーマパークなど、利用した経験に基づき、受けたサービスの内容、そのサービスに対する意見・感想、新たな提案について自由に述べてください。 なお、どのようなサービスを取り上げるかは自由であり(上に例示されていないサービスでも可)、上に挙げたすべてのサービスについて述べる必要はありません。
人間社会	① 今日、「地球温暖化(Global Warming)の時代は終わり、「地球沸騰化(Global Boiling)」の時代がやってきたとも言われています。一方、世界で 2050 年温室効果ガス排出実質ゼロを目指す動きが活発化しています。人間社会を構成する家計・企業・政府の各部門は、その実現のためにそれぞれどのような対策を取る必要があるでしょうか。あなたの考えを具体的に述べてください。 ② 観光を通じた地域活性化は、多くの自治体にとって重要な政策課題となっていますが、その一方で、観光客の集中による環境負荷や地域住民との摩擦といったオーバーツーリズムの問題なども指摘されています。観光による地域活性化を持続可能な形で実現するには何が必要か、あなたの考えを具体的に述べてください。 ③ 近年、伝統行事や催し物などを通じた地域における人々のつながりが希薄になりつつあります。地域において住民につながりがあることの重要性を具体的な例を挙げて説明し、地域で人々がつながる方法について提案してください。

共通

8. 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備のあるもの、出願受付締切後の消印で到着した書類は、受理できません。
- (2) 入学検定料支払い後の志望学部・学科の変更はできません。
- (3) 一度受理した出願書類や納入手続きの完了した入学検定料は原則、返還しません。ただし、一定の条件を満たす場合は、入学検定料を返還します(36頁「(3)③ 入学検定料の返還請求」参照)。
- (4) 自然災害・事故等の不測の事態により、入学試験日程の変更等の緊急措置をとる場合があります。入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイトおよびマイページ内でお知らせしていますので、確認してください。
- (5) 受験および修学における配慮について

本学の編入学試験では、「千葉商科大学における障がいのある学生の支援に関する指針」に基づき、障がいや疾病、怪我などの理由に応じて、受験時に必要な配慮を行います。

配慮が必要な方は、以下の注意事項を確認の上、申し出てください。障がい等の状況に応じた配慮を検討しますが、すべての希望に添えるとは限りません。

また、編入学後に必要な修学上の配慮について、入学センターにて受け付け、関連部署で協議の上、配慮内容を検討します。編入学後のカリキュラム履修や各種プログラムへの参加についても、必要に応じて確認を行う場合があります。

<注意事項>

- ① オープンキャンパス、電話等で事前に相談の上、出願受付開始2週間前までに申し出てください。期限までに申請がなかった場合、受験時に必要な配慮を行うことができない場合があります。
- ② 希望する受験および修学上の支援内容については、入学センター(047-373-9701)まで連絡してください。
- ③ 障害者手帳や診断書等の障がい、症状について把握できる資料の提出を求める場合があります。なお、提出書類は希望する配慮について確認するためのものであり、合否判定とは一切関係ありません。
- ④ 申請内容に関わる情報については、本人または保護者同意のもと、入学センターおよび教務課等の関連部署間で共有し、受験上の配慮や、編入学後の配慮に関する検討や準備等のために活用することがあります。

<申請方法>

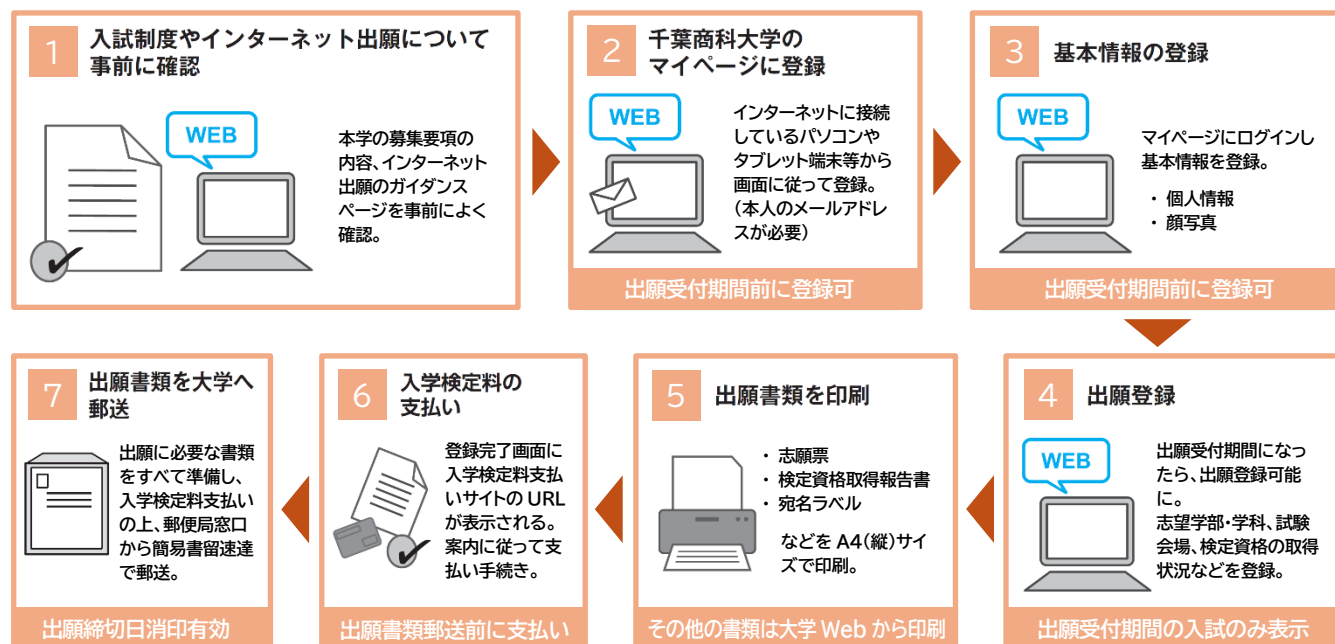
申請方法等詳細は、下記本学Webサイトを参照してください。

[「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「入試案内」→「入試の流れ」→「各種届出」→「障がい支援、受験上の配慮について」](#)



9. インターネット出願

(1) インターネット出願の流れ



STEP1 入試制度やインターネット出願について事前に確認

マイページ登録を行う前に、必ず募集要項などで入試制度やインターネット出願について確認してください。

事前に準備をするもの

- ① インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末など
- ② 利用可能なメールアドレス(携帯電話キャリアのアドレスは不可)
 - ・ 出願内容の問い合わせを行う場合がありますので、必ず出願者本人のメールアドレスを準備してください。
 - ・ 大学から携帯電話キャリアのメールアドレスへ送信することはできません。
 - ・ ドメイン受信設定をしている場合は、以下2つのドメインからメールを受信できるように設定してください。
 - ✓千葉商科大学からの配信：@cuc.ac.jp
 - ✓インターネット出願システムからの配信：@52school.com
 - ・ マイページ登録時に「マイページ登録完了のお知らせ」、出願登録完了後に「インターネット出願完了のお知らせ」、入学検定料支払い完了後に「入金確認メール」が届きます。
- ③ A4サイズ用の紙が印刷可能な環境を確認(自宅プリンター、ネットプリント、在籍中の学校の先生に相談など)
 - ・ 出願時、志願票などの印刷に使用します。

ガイダンスページの確認

インターネット出願のガイダンスページにアクセスし、登録方法やFAQを必ず確認してください。

インターネット出願サイト: <https://www.guide.52school.com/guidance/net-cuc/>



STEP2 千葉商科大学のマイページに登録(2025年8月末 公開予定)

インターネット出願のページから登録

STEP1 で確認をした、インターネット出願サイトのガイダンスページ上部「マイページ」ボタンをクリックし、仮登録をしてください。仮登録で入力したメールアドレスに、マイページ本登録用の URL が届きます。案内に従って、マイページの本登録を行ってください。

2026年度入試のマイページ登録開始は、2025年8月末を予定しています。公開日は大学 Web サイトでお知らせします。なお、マイページは出願受付期間前に登録することが可能です。時間の余裕をもって出願より前に登録することを推奨します。

STEP3 基本情報の登録(出願受付期間前に登録・変更可能)

- ① マイページにログインし、画面の指示に従って「基本情報」を登録してください。
- ② 「基本情報」は、出願受付期間より前に登録することが可能です。
- ③ 「基本情報」メニューへの入力時間は最大30分間です。30分以上継続して入力操作することはできません。30分より長く時間がかかってしまいそうな場合には「登録」ボタンを押し、何度かに分けて登録を行ってください。
- ④ 「基本情報」に登録した内容は変更・更新可能ですが、出願登録完了後の変更は出願情報には反映されません。出願登録完了後に変更が必要な場合は、36頁「(2)登録内容に誤りがある場合の対応」を参照してください。

【基本情報の登録1】氏名や住所などの個人情報

- ① 出願者本人の個人情報を登録してください。
- ② システムの都合上、入力が出来ない漢字があります。その場合は代替文字や略字等で入力してください。

※代替文字の例

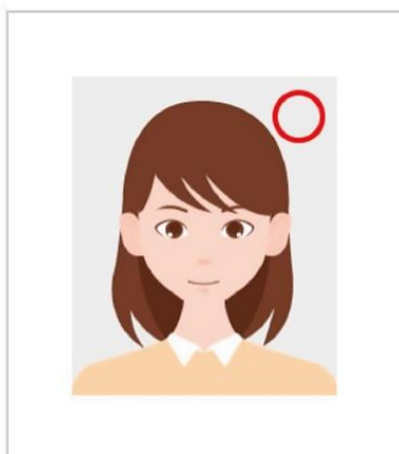
高→高、廣→廣、崎→崎、角→角、橋→橋、吉→吉、瀬→瀬

- ③ 登録した内容は、出願時に使用する個人情報となります。

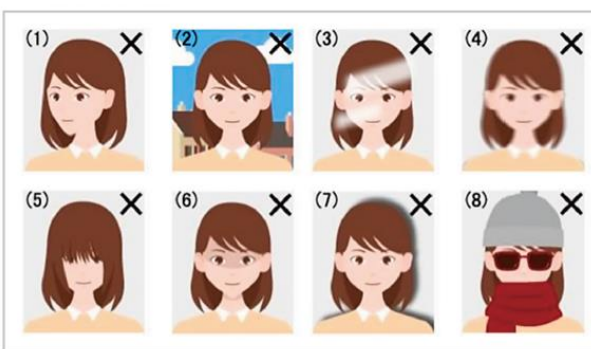
【基本情報の登録2】証明写真の登録

- ① 出願登録の前に顔写真データを準備の上、登録を行ってください。
- ② 証明写真(顔写真)の撮影とデータ保存
下記③. 顔写真の条件および例を参照し、**推奨**証明写真機(写真データの取得ができるもの)、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラなどで顔写真を撮影してください。撮影時には「白／青／グレーを基調とした無地の壁」を背にして撮影をしてください。
- ③ 顔写真の条件
 - ・直近3ヶ月以内に撮影したもの
 - ・カラー写真のみ(白黒不可)、上半身・正面、無帽、背景なし
 - ・アップロードが可能なファイルは jpg のみ、画像容量は 100KB 以上、5MB 以下
 - ・顔が小さすぎないもの
 - ・大きすぎて顔や頭の一部が切れていないもの
 - ・証明写真などすでに印刷された顔写真をさらに撮影した画像でないもの

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



- (1) 正面を向いていない (顔が横向き等)
- (2) 無背景でない (風景や柄が写っている)
- (3) 照明が反射している (顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない)
- (4) ピンボケや手ブレにより不鮮明
- (5) 前髪が長すぎて目元が見えない
- (6) 顔に影がある
- (7) 背景に影が写っている
- (8) マフラーやスカーフで輪郭が隠れている
- (9) 証明写真など既に印刷された写真をさらに撮影した画像

- ④ 顔写真を登録

アップロード時に写真の拡大・縮小・範囲指定が行えますので、画面に従ってサイズを調整してください。

STEP4-1 出願登録(出願受付期間に該当する入試のみが表示されます)

- ① 出願する入試種別、出願区分、志望学部・学科を選択し、受験に必要な情報を手順に従って入力してください。
- ② 「緊急連絡先」は入試当日の緊急時に連絡がとれる、出願者本人以外の連絡先を登録してください。
また、入試当日以外にも出願内容の確認等のため大学から連絡する場合があります。
- ③ 「検定資格取得報告」メニューにて、出願者が取得した検定試験や資格の情報を登録してください。
 - a. 各資格区分から該当する検定・資格をプルダウン選択し、登録してください。スコア入力が必要な検定資格は、必ずスコアも入力してください(選択可能な検定・資格一覧は入力画面にて確認してください)。
 - b. 保有する検定・資格が選択肢に無い場合は、「その他」を選択してください。
 - c. 「検定資格取得報告」に登録した内容は、出願時に提出する書類「検定資格取得報告書」として[出願登録]の完了画面から印刷できます。なお、検定・資格の取得等が無い場合には、入力の必要はありませんが、出願の際には「検定資格取得報告書」を必ず提出してください。

検定資格情報の登録から提出のイメージ

検定資格取得内容登録画面の一部

登録した内容は、出願登録完了時に印刷する「検定資格取得報告書」に印字される。

証明資料を提出する際は、手書きでチェックを入れる。

各区分、保有資格を最大3つまで選択可能。

英語検定試験で、スコア入力が必要なものは必ずスコア欄にスコアを入力する。

検定資格の保有を証明する資料を提出(提出方法は39頁)。

※登録画面および出力書類はイメージです。表示内容が変更になる場合があります。

- ④ 「入力内容の確認」画面において、登録内容に誤りがないか確認してください。登録完了後は内容の変更を一切行えません。
- ⑤ 誤った内容で登録してしまった場合は、入学検定料支払い前(クレジットカード決済前)であれば、再度登録し直してください。入学検定料支払い後(クレジットカード決済後)は、登録した情報の内容は一切変更できません(36頁参照)。

STEP4-2 入学検定料の支払い方法を確認

- ① 支払い方法を確認してください。支払い可能な取り扱い機関は、下記を参照してください。
- ② 北海道および沖縄県の在住者は、入学検定料が免除となります。対象者は STEP6-1 での支払いを行わず、そのまま出願してください。

下記より支払い方法を選択してください。

支払い可能な取り扱い機関

■ コンビニエンスストア セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート	■ ATM (Pay-easy 利用可能な ATM) ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行など
■ クレジットカード VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club	■ ネットバンキング 楽天銀行、auじぶん銀行、住信SBIネット銀行、その他 都市銀行、地方銀行、労働金庫、信用金庫、信用組合など

<クレジットカード支払いの注意点>

入学検定料の支払いを行う際の安全性を高めるため、クレジットカード決済において「本人認証サービス(3D セキュア)」が導入されています。

各カード発行会社の判断により本人認証が必要とされる場合は、パスワード認証、ワンタイムパスワード認証、端末認証などによる追加認証が決済時に必要となります。

認証手順が増えることにより、クレジットカード決済に時間を要する可能性があるため、入学検定料は期限に余裕を持ってお支払いください。

【本人認証が必要な場合の流れ】



※3D セキュアの本人認証画面や入力画面は、カード発行会社により異なります。3D セキュアへの対応状況、設定・認証の方法など詳細は、利用中のカード会社に問い合わせください。

STEP5 出願書類の印刷

出願完了画面にて志願票、検定資格取得報告書、宛名ラベルをA4(縦)サイズで印刷してください(出願登録完了後、マイページ内の「出願確認」メニューからも印刷が可能です)。

ネット
出願

マイページログイン URL: <https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja>



【注意事項】

スマートフォンやタブレットで出願書類のダウンロードを行った際、ダウンロードボタンを押下しても、印刷用 PDF ファイルが自動的に表示されない場合があります。その際は、端末でダウンロードファイルが保存されるフォルダを確認してください(ファイルの保存先は機種や設定によって異なります)。

STEP6-1 入学検定料の支払い(代行業者の専用サイトへ移動)

- ① 各支払い方法の手順を確認し、支払いに必要な番号を印刷またはメモの上、所定の期日までに入学検定料の支払いを行ってください。出願情報を登録、書類を提出していても、入学検定料納入の確認ができない場合は出願受付は行いません。ただし、入学検定料免除対象者(北海道および沖縄県の在住者等)は支払い不要です。
- ② 入学検定料支払い可能期間を過ぎた場合、システムの都合上、支払い手続きが行えなくなります。
- ③ 支払いの際に受け取った領収書、レシート等は試験終了まで保管してください(提出の必要はありません)。なお、本学での領収書発行は行いません。
- ④ 支払い完了後、志願票の右下「入学検定料支払い方法チェック欄」にチェックを入れ、支払日を記入してください。
- ⑤ 入学検定料支払い後は、出願登録の内容を一切変更できません(誤った内容で登録してしまった場合は、36頁「(2)登録内容に誤りがある場合の対応」参照)。

STEP6-2 出願確認

出願内容の確認や志願票等提出書類の再印刷、入学検定料支払い方法の確認が行えます。

STEP7 出願書類を郵送

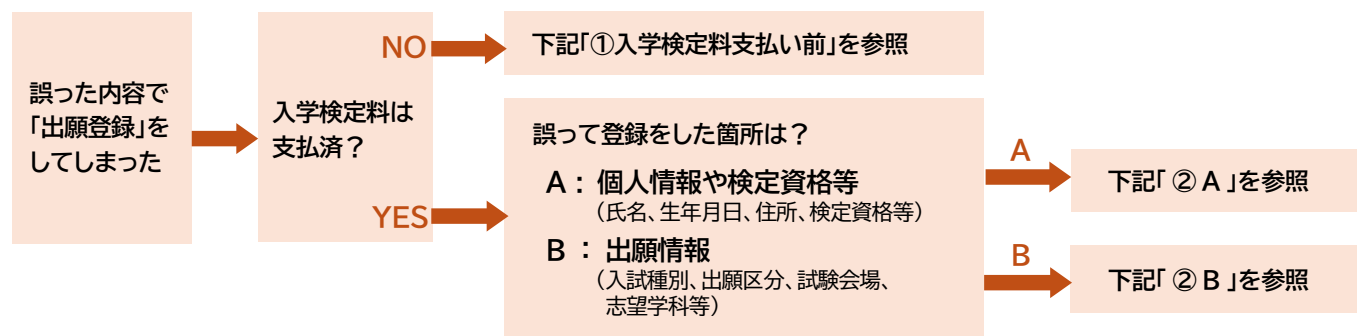
必要な出願書類をすべて準備し、市販の角型 2 号封筒に宛名ラベルを貼付け、所定の期日までに郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。

出願完了 受験票を確認・印刷 ※所定の受験票公開期間のみ(38頁参照)

出願完了後、受験票公開期間になると受験票の確認および印刷が可能になります。なお、大学から受験票の郵送は行いません。

(2) 登録内容に誤りがある場合の対応

入学検定料の支払い状況や誤りの項目によって対応が異なります。



① 入学検定料支払い前

- 入学検定料を支払う前の場合は、STEP4-1 から、あらためて正しい内容で「出願登録」をし直し、正しい内容の志願票整理番号で入学検定料の支払いを行ってください。
- 誤って登録してしまった情報は、そのまま構いません(書類を提出しなければ出願した事にはなりませんのでキャンセル処理等は不要です)。

② 入学検定料支払い後

- 入学検定料支払い後の場合は、登録内容の変更を一切行えません。
- 以下、登録を誤った箇所を確認の上、対応してください。

A 個人情報や資格・検定情報の登録を誤った場合

- 印刷をした志願票や検定資格取得報告書に、赤ボールペンで直接加筆してください。誤った箇所に二重の取り消し線を書き、すぐ近くの余白に正しい情報を追記してください。
(例: 氏名、生年月日、出身校名、住所などの個人情報、資格・検定の登録ミスなど)

B 入試種別、出願区分、志望学部・学科、試験会場の登録を誤った場合

- 登録内容の変更、訂正は一切行えません。再度、STEP4-1 から、あらためて正しい内容で「出願登録」をし直し、正しい内容の志願票整理番号で入学検定料の支払いを行ってください。
- 誤った登録情報は削除できないため、そのままにしてください。誤って登録、支払いをした分の入学検定料返還請求については、下記「(3)③ 入学検定料の返還請求」を参照してください。

(3) 入学検定料について

① 入学検定料

32,000 円 ※入学検定料の他に、サービス利用料がかかります。

② 入学検定料の免除

- 北海道および沖縄県の在住者は、入学検定料を免除します。
(入学検定料の支払い手続をせず、出願書類を郵送してください)
- 大規模自然災害により学費負担者が被災した受験生は、経済的支援(入学検定料免除)の対象となる場合があります。
(44頁または本学 Web サイト参照)

③ 入学検定料の返還請求

出願が受理されている場合、本学を受験しなくても払込み済の入学検定料は返還しません。

以下の場合のみ、入学検定料を返還します。本学 Web サイトを確認し、返還請求を行ってください。

- 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった)
- 出願書類を提出したが、出願資格が無いことや出願受付締切日を過ぎて郵送した等により、出願が受理されなかった場合
- 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに症状が軽快していなかった場合や、試験日当日に発熱(37.5度以上)・咳等の症状があったため、本学試験日に受験できなかった場合

※試験当日までに本学へ連絡をしていることと、医師の診断書(治療期間が明記されているもの)等の提出が必要です。

返還請求の方法

[「本学で学びたい方」](#)→[「CUC-NAVI」](#)→[「入試案内」](#)→[「入試の流れ」](#)→[「各種届出」](#)→[「入学検定料の返還について」](#)



上記の本学 Web サイトから返還に関する個人情報を登録の上、申請を行ってください。

返還時期等の詳細は、同 Web サイトで確認してください。

(4) マイページ操作画面

千葉商科大学マイページ

マイページトップ

マイページメニュー

お知らせ

2021.8.6 【重要】インターネット出願のガイダンスページ

STEP1 ガイダンス閲覧・確認

千葉商科大学のインターネット出願ガイダンスを確認できます。

ガイダンス閲覧・確認

出願手続のの流れやネット出願する際の必要なPC・スマートフォン環境などをご案内します。

ガイダンス確認に進む

STEP2 基本情報

千葉商科大学で利用する個人情報を登録することができます。個人情報、証明写真を画面の表示に従って登録して下さい。

※すでに登録完了した個人情報、証明写真は変更することができます。

個人情報の登録・編集と確認

出願者の個人情報(姓・名・性別)が登録されています。

登録・確認に進む

証明写真の登録・編集と確認

証明写真のアップロード、再アップロードをすることができます。

登録・確認に進む

STEP3 出願登録

千葉商科大学に出願登録をします。

出願登録

画面の表示に従って出願に必要な情報を入力し、その内容を確認・確認してください。

出願登録に進む

STEP4 出願確認

千葉商科大学へ出願した情報を確認いただけます。

出願確認

千葉商科大学へ出願した情報を確認いただけます。

出願確認に進む

STEP5 STEP6

【出願確認・出願書類の印刷】

志願書の再印刷や入学検定料支払い方法、支払状況の確認が行えます。

【オンライン受験票】

受験票公開期間中のみ、表示・印刷が可能になります。(公開日は38頁参照)

オンライン受験票

印刷済みの受験票を再印刷いただけます。

合否結果

受験済みの合否結果をご案内いたします。

【合否結果】

公開期間中のみ合否結果を確認できます。(42頁参照)

オンライン入学手続き

合格者は入学手続きについてご案内いたします。

メールアドレス変更

当サイトログイン用のメールアドレスを変更できます。

パスワード変更

当サイトのログイン用のパスワードを変更できます。

※実際の画面表示内容は変更になる場合があります。

〈志願受付操作サポート窓口〉

TEL:0120-752-257

〔受付時間〕 9:00~20:00(8/1 ~3/31)
(12/29 ~ 1/3 除く)

〈入試に関する問い合わせ〉

千葉商科大学入学センター

TEL:047-373-9701

〔受付時間〕9:00~17:00
(年末年始(12/24~1/4)、土・日・祝日を除く)

10. オンライン受験票

インターネット出願への登録および出願書類が受理されると、受験票公開期間に受験票の印刷が行えるようになります。下記の受験票公開期間内にマイページへログインの上、「オンライン受験票」メニューを確認し、受験票を A4用紙縦向きで印刷してください。大学からの受験票の発送は行いません。

また、試験当日には受験票を折り線部分で折った上で、必ず持参してください。

■ オンライン受験票公開期間

受験票公開開始	受験票公開終了
2026年 2月16日(月)17:00から	2026年 3月24日(火)17:00まで

■ 受験票見本(A4用紙縦で印刷)

試験日、当日受験番号、試験会場を必ず確認してください。

2026年度 千葉商科大学 受験票

試験日	2月28日(土)	試験開始時間	8:30
当日受験番号	418266	試験集合時間	9:15
カナ	チバ ショウタ	試験科目	面接試験
氏名	千葉 商太	面接試験時間	9:30 ~
所属	本学	出願情報詳細	出願学科 総合受験番号
入試名	第3年次編入学試験	第3年次編入学試験	出 席 418266
備考欄	-		

試験当日の集合時間、試験時間などを確認してください。

出願している入試名、学科および可否確認用の受験番号が表示されます。

備考欄には、当日のお知らせなどが掲載される場合があります。

注 意 事 項

1. 受験票は試験日前に1枚発行されます。上記は記載の「試験日」以降は印刷できません。A4用紙に印刷し、点検に後い42折りにし、試験当日に持参してください。
2. 試験当日、試験開始時間前までは、試験場の待合室に入ることとさせていただきます。試験開始時刻が近づくと、会場内へ案内される場合があります。集合時間まで待機してください。
3. 試験当日は上記の試験集合時間まで試験会場に入ら、本学「当日受験番号」欄に記載された受験番号の提示に備えてください。
4. 試験会場へ入場の際は、必ず受験票を持参してください。
5. 受験票は事前に印刷し、面接検査及び試験官ではじめの1枚に、「当日受験番号」が貼られるようにしてください。
6. 当日の集合は試験開始時刻前にはじめて用意してください。
7. 試験中の携帯電話・スマートフォン等を使用しない場合は、係員に申し出てください。
8. 交通機関の混雑による遅延等が発生した場合、必ず確認してください。(右側のQRコードをマイページでダウンロード)
9. 受験票および受験上の注意を事前に確認してください。

各 種 確 認 サ イ ト

マイページ内のお知らせ欄・合同募集要項など
当日の試験場へ持参してください。
< インターネット出願マイページログイン >

募集要項の確認、オープンキャンパス等のイベントや資料請求など
< 千葉商科大学CUC-NAVIサイト >

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

千葉商科大学 問い合わせ先
〒272-8512
千葉県市川市国府台1-3-1
千葉商科大学 入学センター入試係
TEL 047-373-9771
(受付時間 平日9:00~17:00)

受験にあたっての注意事項が記載されています。試験ごとに注意点が異なりますので事前によく読んでください。
また入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイトおよびインターネット出願マイページにてお知らせしていますので必ず確認してください。

試験当日は、点線に沿って4つ折りにし、持参してください。

※受験票の記載内容は変更になる場合があります。

< 受験票がダウンロードできない場合 >

スマートフォンやタブレット端末でダウンロードした場合は、データが自動的に保存されますので保存先を確認してください。データを開いても内容が確認できない場合は、パソコンなど別の環境で再度ダウンロードすることを試みてください。

11. 検定資格・クラブ活動等の活動実績証明資料について

活動実績証明資料は、以下の要領で作成し、他の提出書類と同封の上、提出してください。なお、提出できるのは中学校卒業後から出願に至るまでの期間の活動実績に限ります。

(1) 資格・検定(取得済みの資格のみ)

- ① 資格・検定は最上位の合格証または合格証明書を提出してください(コピー可・用紙はA4 サイズ)。
- ② 資格・検定は、**2023年4月1日から出願時まで**に取得したものを有効とします(ただし、スコアに有効期限があるものは有効期限内であること)。
- ③ 資格・検定は、CBT 方式で受検した場合も有効とします。
- ④ 英語資格のうち、成績が得点・スコアで評価されるもの(TOEIC®等)は、公式認定書、スコアレポート等を提出してください(コピー可)。
- ⑤ 証明資料は和文・英文どちらでもかまいません。

【証明書の例】

① 英検

② 英検

③ 英検

①合格証明書(S-CBT も可)

②CSE スコア証明書

③個人成績表

※和文・英文のどちらでも可
※写真の有無どちらでも可

出典:「公益財団法人 日本英語検定協会ウェブサイト」より

英検証明書は4技能対応した試験とし、CSE スコアが確認できるものとする。

GTEC®

- ・オフィシャルスコア証明書であること
- ・検定版(Basic/Advanced)またはCBT タイプのいずれかであること
- ・生徒用帳票は不可
- ・アセスメント版は不可(オフィシャルスコア証明書が発行されないため)




「GTEC」は株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

情報処理検定 (全商協会主催)

様式

第 号 合格証書

第 級 (部門) 氏名

年 月 日生

本協会主催文部科学省後援第 回 情報処理検定試験において頭書の級に合格したことを証します

年 月 日

公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名 印

ビジネス文書 実務検定試験 (全商協会主催)

様式

第 号 合格証書

第 級 氏名

年 月 日生

本協会主催文部科学省後援第 回 ビジネス文書実務検定試験において頭書の級に合格したことを証します

令和 年 月 日

公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名 印

様式

第 号 合格証書

第 級 部門 氏名

年 月 日生

本協会主催文部科学省後援第 回 ビジネス文書実務検定試験において頭書の部門に合格したことを証します

令和 年 月 日

公益財団法人全国商業高等学校協会 理事長 氏 名 印

※様式は変更になる場合があります。

(2) 生徒会・委員会活動

- ① 生徒会長などの任命状はA4サイズにコピーして提出してください。
- ② その他、生徒会・委員会活動の活動実績がある場合は、「(3)部活動等」と同じ形式で提出してください。
学校通信、Web サイト等のコピー(A4サイズ)も可とします。

(3) 部活動等(文化・芸術、スポーツ、アカデミック、ボランティア、高大連携など学校内・外における活動)

【証明書等の参考例】証明資料はすべて A4 サイズ用紙に印刷、または貼り付けて提出してください。

①出願者の氏名と実績が確認できるもの (賞状(コピー可)、新聞・雑誌・パンフレット・ネット記事等)

- ✓大会名・開催日・氏名・成績があるもの
- ✓掲載誌名(ネット記事の場合は URL)があるもの
- ✓発行年月日があるもの

②DVD、USB メモリー等を 提出する場合

- ✓収録されている内容を簡潔に説明した
文書(A4サイズ、様式任意)を添付
- ✓印刷可能な資料と一緒に提出

③ボランティアについて

公的な団体に所属または参加が認められた
活動であること

例:学校内ボランティア部、自治会、
町内会、市民活動団体、等

(4) 留学・海外経験(留学、海外のコンクール、国内開催の海外交流イベントなど)

「(3)部活動等」と同じ形式で提出してください。

(5) その他の活動

「(3)部活動等」と同じ形式で提出してください。

(6) 証明資料を提出できない場合

【対応方法】

(1)活動実績証明資料が無い

- ①出願者の氏名等、確認できる資料が手元に無い。
- ②大会名や成績を証明する資料はあるが、氏名の記載が無い。

① 活動実績等を証明する資料が無い場合は、在籍する公的機関において、その活動を証明する資料を準備の上、提出してください。

・書式は任意/A4 サイズ

② 大会の賞状(コピー可)とメンバー表等、複数枚の証明資料で1つの活動実績を証明することも可能です。

(資料の作成例①)

証明書

以下記載の活動内容に相違ないことを証明します。

開催日 2025年〇月〇日
大会名 2025年度第〇回〇〇〇大会
実 績 第2位
氏 名 〇〇 〇〇 (出願者氏名)

2025年〇月〇日
〇〇高等学校 〇〇(記入者) 印

在籍する公的機関等で証明書を作成してもらってください。

(2)検定資格の証明資料が無い

- ・ Web で合格の確認はできているが、出願までに紙の証明書発行が間に合わない。
- ・ 成績開示方法が PC 画面閲覧等のみのため紙の証明書が無い。

受験した合格結果および成績表をウェブサイトから印刷し、在籍する公的機関の証明を受けた上で提出してください。

・A4 サイズ

(資料の作成例②)

〇〇検定

氏名: 〇〇 〇〇

スコア〇〇点

上記を証明します。
2025年〇月〇日
〇〇高等学校 〇〇(記入者) 印

PC 画面で、受験した検定試験のウェブサイトから結果を閲覧する。

A4 サイズで印刷する。

在籍する公的機関において、書類の確認日、確認署名および押印をもらう必要があります。印刷した書類の余白に記入してもらってください。

12. 受験上の注意

(1) 試験前日まで

- ① 38頁の説明に従い、A4 用紙で受験票を印刷しておいてください。
- ② 自然災害や停電、火災等の不測の事態により試験日程の変更等の緊急措置をとる場合があります。入学試験をはじめ大学の情報は、本学 Web サイト(<https://www.cuc.ac.jp/>)およびマイページ「お知らせ」に掲載しますので、必ず最新情報を確認してください。
- ③ 受験を取りやめる場合は、必ず事前に本学入学センター(047-373-9701)まで連絡をお願いします。

(2) 試験当日

【試験会場について】

- ① 千葉商科大学市川キャンパスの試験当日の開門は8時30分です。
- ② 試験場への出入りの際は、受験票を提示してください。
- ③ 面接控室では、机に貼ってある受験番号と受験票記載の当日受験番号が同じであることを確認して着席し、当日受験番号が見えるようにして受験票を机の上に置いてください。
- ④ 試験場内は全面禁煙です。喫煙は指定された場所をお願いします。
- ⑤ 受験者の付き添いの方は試験場内には入れません。また、付き添いの方の控室はありません。

【交通手段、遅刻の取り扱い等について】

- ① 集合時間までに試験場へ入れるよう、時間に余裕をもって試験会場に到着してください。
- ② 試験会場へは公共の交通機関を利用してください。自動車・バイク・自転車等での来校はできません。近隣の通行の妨げとなりますので、自動車での送迎も控えてください。
- ③ 交通機関の遅延等により集合時間に間に合わない場合は、本学入学センター(047-373-9701)へ連絡してください。
- ④ 交通機関の遅延等により試験開始時刻の繰り下げを行う場合があります。試験当日、マイページ「お知らせ」に掲載しますので、確認してください。
- ⑤ 交通機関の遅延等を除く本人都合の遅刻は、集合時間から15分以内とします。本人都合により遅刻限度時間を過ぎて到着した場合、欠席扱いとなります。

【当日の持ち物について】

- ① 38頁の説明に従って事前に各自で印刷した受験票を、必ず持参してください。当日、受験票を忘れた場合は、試験場入口の係員に申し出てください。
- ② 上履きは必要ありません。

【試験時間中について】

- ① 受験票は常に携帯し、面接控室では机の上に置いてください。
- ② 試験中の途中退室は原則認めません。体調不良・トイレ等やむを得ない場合は、面接者または係員に申し出てください。
- ③ 面接控室および面接室では携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類の電源を切り、カバンにしまってください。これらを時計として使用することは認めません。
- ④ 試験終了後は、受験票および所持品をすべて持って退室してください。

(3) その他

【体調不良について】

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し、試験日までに症状が軽快していない者や、試験日当日に発熱(37.5 度以上)・咳等の症状がある者には、入学検定料の返還を認めます。その際は当日の受験を控え、本学に必ず連絡してください。なお、入学検定料返還の可否判断のため、診断書等の提出が必要です。

[不正行為について]

試験中の以下の行為は、不正行為と判断され、当該試験は無効となります。

- ① 面接者の指示に従わない。
- ② 他の受験者の迷惑となる行為。
- ③ 面接試験においてメモ等を確認しながら回答する。
- ④ カンニングペーパーの使用、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・イヤホン等を、身に付けていたり手に持っていたりする等、機器を操作していると疑われる行為。
- ⑤ その他、試験における公平性を損なう行為と面接者が判断した場合。

[入学者選抜における生成系 AI 利用の注意喚起について]

入学者選抜に関する、生成系 AI 利用の注意事項を踏まえて、出願書類等の作成を行うようお願いします。

- ① 生成系 AI は、まだ発展途上の技術であり、不正確な情報を生成することがあります。また、生成された文章等を利用することが個人情報や機密情報の漏洩、著作権を侵害する可能性もあります。
- ② 生成系 AI に入力した情報がシステムに蓄積され、他の人の回答に影響を与える可能性があるとは指摘されています。従って、個人情報や機密情報については、絶対に入力しないでください。
- ③ 入学者選抜では、アドミッション・ポリシーに則り、出願書類等を用いて選抜します。選抜における課題の目的を理解した上で、不正が疑われることのないよう、自らの責任で十分に考えて作成した書類を提出してください。
- ④ 提出資料については、面接等において、記載内容を確認することがあります。

13. 合格発表

- (1) 合格通知は、合格通知書を合格通知郵送日に速達で郵送します。なお、不合格者には郵送での通知は行いません。
- (2) 本学構内では、合格発表や合格通知書等の交付は行いません。また、合否結果についての問い合わせには一切応じません。
- (3) 合格通知書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- (4) 合否結果はマイページ「合否結果」から確認できます(37頁参照)。下記 URL または二次元コードからログインしてください。

マイページログイン URL: <https://exam-entry.52school.com/cuc/my?locale=ja>



① マイページ「合否結果」公開期間

合否結果公開開始	合否結果公開終了
2026年3月7日(土)17:00から	2026年3月31日(火)17:00まで

- ② 本学への電話による合否の確認、操作方法の問い合わせ、受験番号確認などについては一切応じません。
- ③ マイページの誤操作などを理由とした編入学手続期間終了後の入学手続きや、その他のトラブルについては受け付けません。

14. 編入学手続きおよび学費等

編入学手続きは、インターネット出願の際に利用した「マイページ」から、Web 上で行います。

詳細は、合格者に公開される「入学手続要項(PDF)」およびマイページ内の「オンライン入学手続き」メニューから入学手続きガイダンスも確認し、締切日までに編入学手続きを行ってください。

なお、所定の手続締切日までに編入学手続きを行わない場合、入学の意志がないものとみなします。

(1) 学費等

費 目		金 額 (円)	
		第3年次編入学	第2年次編入学
入 学 金		140,000	140,000
学 費	授 業 料	880,000	880,000
	教 育 充 実 費	40,000	40,000
	学 園 整 備 費	200,000	200,000
	計	1,260,000	1,260,000
受 託 徴 収 金	学 生 自 治 会 入 会 金	850	850
	学 生 自 治 会 費	5,000	5,000
	同 窓 会 入 会 金	10,000	10,000
	教 育 後 援 会 費	5,000	5,000
	学生教育研究災害傷害保険料	1,400	2,100
	学生教育研究災害付帯賠償責任保険料	680	1,020
	計	22,930	23,970
合 計		1,282,930	1,283,970

- 注1. 受託徴収金は、学生自治会、同窓会、教育後援会および公益財団法人日本国際教育支援協会から委託されて徴収するものです。
 2. 本学では学生教育研究災害傷害保険および学生教育研究災害付帯賠償責任保険は全員加入とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が保険契約者、学生が被保険者となります。
 3. 学費等については、変更になる場合もあります。

(2) 編入学手続き方法

入学手続要項(PDF)を確認の上、マイページの「オンライン入学手続き」メニューから、入学手続きガイダンスの流れに従い、各締切日までに第1次および第2次編入学手続きを行ってください。

(3) 編入学手続締切日等

手続 区分	費目	金額(円)		編入学手続締切日 (納入期限)
		第3年次編入学	第2年次編入学	
第1次	第1次納入金 (入学金)	140,000	140,000	2026年 3月13日(金)
第2次	第2次納入金 (春学期学費等)	577,930	578,970	2026年 3月24日(火)
	秋学期学費等	565,000	565,000	2026年 10月31日(土)

(4) 編入学手続時提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

- ① 誓書・個人情報に関する同意書
- ② 住民票記載事項証明願
- ③ 学生カード
- ④ 顔写真データ(大学に在籍している間、所持する学生証等に使用)
- ⑤ パスポートおよび在留カードのコピー(外国籍の者のみ)
- ⑥ 卒業(修了)証明書(卒業(修了)見込みで出願した者)または在学期間証明書等(8頁または23頁の出願資格(5)で出願した者)、および成績証明書(単位修得状況が記載されたもの)の原本

(5) 大規模自然災害に係る受験者への経済的支援

① 経済的支援の対象者

学費負担者が被災した受験生ならびに編入学予定者としてします。

なお、支援対象となる災害については、下記本学 Web サイトを参照してください。

[「本学で学びたい方」→「CUC-NAVI」→「学費／奨学金等」→「奨学金・支援制度」→「大規模自然災害等に係る経済的支援」](#)



② 経済的支援の基準(罹災証明書により被災状況を確認します)

被災状況	経済的支援の内容
学費負担者が所有する自宅家屋が全壊(流失)あるいは大規模半壊した場合	・入学検定料の納入免除 ・入学金の納入免除

③ 申請書類

罹災証明書(コピー可)

④ 申請方法

事前に問い合わせの上、罹災証明書(コピー可)を本学入学センターに提出してください。

⑤ 申請期限

a. 入学検定料の納入免除については、出願受付締切日までとします。

b. 入学金の納入免除については、第1次編入学手続締切日までとします。

⑥ 被災した受験生への経済的支援に関して、罹災証明書が期限に間に合わない場合やその他不明な点等がある場合は、入学センターまで問い合わせください。

千葉商科大学入学センター 電話番号 047-373-9701

受付時間 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日の受付は行いません)

15. 単位認定の取り扱いについて

本学編入学以前に修得した単位については、各学部の定める編入学単位認定基準に基づき認定します。なお、第3年次、第2年次のいずれに編入学した場合も、単位認定結果によっては卒業までに正規の修業年限以上かかることがあります。

16. その他

(1) 一度受理した書類および納入手続きの完了した編入学時納入金は、返還しません。

(2) 編入学手続完了後、入学資格のないことや、提出書類に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。

(3) 本学在学学生には、資格取得支援制度、成績優秀者表彰制度等があります。

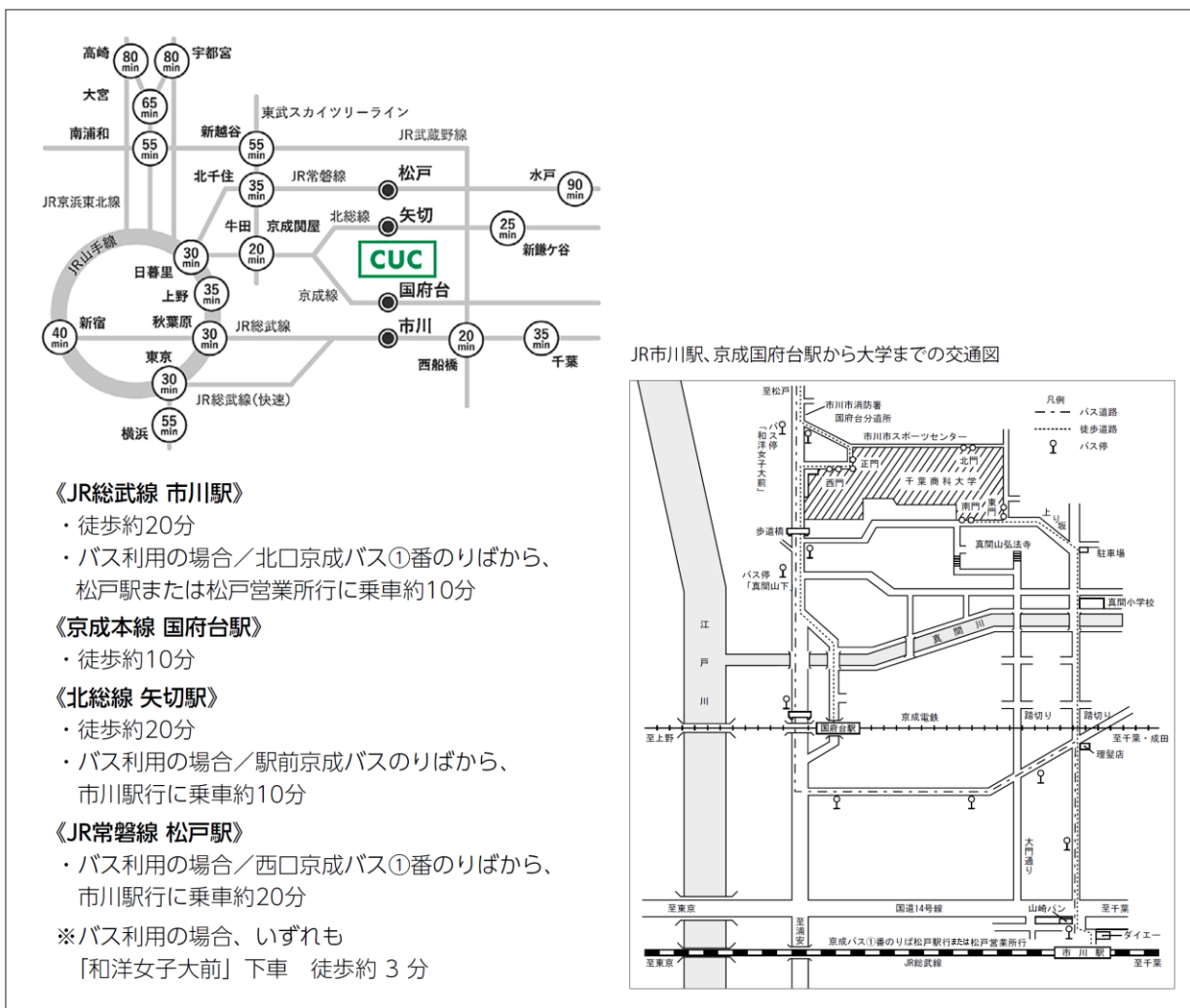
また、日本学生支援機構奨学金等も取り扱っています。詳細は、本学 Web サイトを参照してください。

なお、本学は大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)による修学支援の対象校となっています。前籍校で日本学生支援機構の給付奨学金を受給し、高等教育の修学支援新制度を利用していた場合は、利用状況により本学での制度利用に制限があります。

入学金に関して過去に減免を受けていた場合、本学での減免は受けられません(入学金減免が受けられるのは1回のみ)。該当する方で詳細を確認したい場合は、入学センターへ問い合わせください。

17. 試験会場案内

JR 市川駅、京成国府台駅 から大学までの交通図



市川キャンパス建物配置



入試に関する問い合わせ先

千葉商科大学 入学センター

〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号

T E L (047)373-9701

Web サイト <https://www.cuc.ac.jp/>

E-mail info@cuc.ac.jp

